

J A A F

陸上競技のアナウンサー

🎤 初めてマイクにおかう人へ 🎤

2021年 改訂



公益財団法人 日本陸上競技連盟

競技運営委員会

1. マイクにむかう時は

- ① 落ち着いて、慌てず、焦らず力まずに。口にもものを入れずに。マイクの感度を考えて、マイクに近すぎず、離れすぎない。口元に対してマイクを直角にすると声がよく入る。なるべく下を向かずに、原稿を正面に持って喋ると、喉がつかえずに声がよく出る。
- ② 生き生きとした、張りのある声で。不慣れで自信がなくても、はっきりと喋ろう。テレビやラジオの実況放送でのアナウンサーをまねする必要はなく、絶叫調にならないように。
- ③ 早口にならない。間をとると聞きやすくなる部分があるので意識する。陸上競技のアナウンスでは数字が最重要。最後の数字まできちんと言い切ること。
- ④ 喋る前には、全体を見渡す習慣をつけよう。スタートしようとしていないか？優勝がかかっている選手が今、助走を始めようとしていないか？必ず確認する。結果発表では、内容（ページ、順位、風速等）をよく確かめてから読み始めよう。
- ⑤ アナウンス済みの原稿には、抗議があった場合に備えて、発表時刻と担当者を結果の用紙に記入しておく。PCを使用する場合は、手元のプログラムや進行管理表に記入しておく。
- ⑥ 読みにくい字、判読しにくい人名、地名、所属名等は事前に確認しておこう。総務にあるエントリー原本で確認したり、トラック種目なら出発係との無線で、本人に確認してもらうこともできる。
- ⑦ 紹介時にスタートリストが届いていない場合は、慌てずに、目視や双眼鏡で出場者やナンバーの確認、無線で出発係に問い合わせる。
- ⑧ 雨天、荒天、炎天時には、アナウンスのために競技者を待たせない。そのような場合の選手紹介方法をスタートチーム・フィールド審判員・進行担当と決めておく。
- ⑨ 本来の任務（紹介、描写、結果発表、式典、表彰等）以外の内容をコメントする時は、主任に確認しよう。
- ⑩ 自分の喋りのパフォーマンスのためにいるのではない。観客になってはいけない。冷静に、事実を正しく、情報は新鮮なうちに、シンプルな言葉で伝えることを心がける。初めは原稿の棒読みになってしまうが、「伝える」という気持ちを忘れずに。目の前にいる人に、話しかけるつもりでコメントしよう。

2. 初心者によくある事例

- ① 周囲の状況を見ないで喋りだしてしまう。
 - 「On Your Marks」の声がかかっていないか？
フィールド競技で新記録に挑戦する助走の態勢に入っていないか？
 - ほかの種目がどんな展開になっているのか、常に意識しよう。
喋り始めるときは全体を見渡す習慣をつけよう。
- ② 「200m競走予選」の言い方で、「競走」と「予選」をつなげてしまう。
 - 正しくは 「200m競走（少し間を空けて）予選」
「競走」は省くこともある。主催者・進行担当・アナウンサー主任の指示を仰ぐ。
その場合は「200m（少し間を空けて）予選」
- ③ 選手を並べて紹介する場合に、準備を終えた選手が並んで待っているのに、始められない
 - 競技開始時間までに原稿を整えておく。常に競技エリアの状況を見ておく。
緊張していたら、声を出して一度原稿を読んでみよう。
- ④ 途中計時地点を通過しても、なかなか途中時間をアナウンスできない。
 - トップがポイントに到達するまでに、種目・通過する距離・可能ならトップの選手名を言っておき、ポイント通過後はタイムだけ言う。
- ⑤ 1周目400mの途中時間をストップウォッチの表示のまま読んでしまう。
 - 選手は「1分06秒」ではなく「66秒」が慣れているので「秒」に換算して読む。
- ⑥ スクリーンを使用しない時に、プログラムページを言わないで結果を発表してしまう。
 - 聞き手がプログラムに書き込むことを考慮しよう。まず何ページかを案内する。
そのあとすぐに結果発表に入らずに、聞き手がプログラムを開く時間を考えて少し待つ。結果をネット配信する場合は、アクセス方法を案内するとよい。
- ⑦ 話し方が速すぎる。速さにムラがある（聞き取れない・書き取れない）。
 - 早口にならず、書き留めることができるスピードで。
- ⑧ 1/100秒やセンチの位が聞き取りにくい。
 - 陸上競技アナウンスでは、数字が一番大事。「2分34秒56」なら、単位ごとにわずかな間をとる。「2分 34秒 56」。最後は「ごうろく」ではなく「ごおーろく」のように少し伸ばし気味に言ってみよう。

→ 「7m89」なら(「センチ」は言わない)、 「はちじゅうきゅう」ではなく「はちじゅううきゅう」のイメージで。最後は喋るスピードを少し落とすように言ってみよう。

⑧ 風向風速を言い落とす。

→ どの種目に風向風力が必要？ 結果発表では注意深く確認しよう。

3. アナウンスの用語

紹介 選手紹介はレースの前が原則（中長距離でも）

① 男子は「くん」、女子は「さん」が原則。

→ 国内のほとんどの競技会では「くん・さん」が原則。

日本選手権やグランプリシリーズなどの外国人が出場する競技会では、「くん・さん」をつけないか、場面によっては「〇〇選手」と使い分けている。

主催者・進行担当・アナウンサー主任の指示のもと、アナウンサー全員で統一する。

② 種目の言い方は「 カテゴリー / 性別 / 種目 」

→ 例) 高校 男子 走幅跳、 中1男子 100m競走、 一般・高校 女子 砲丸投
「競走」は省くこともある。

③ 「10時より競技が開始されます」ではなく「10時から…」

→ 時刻に関して「より」は使わない。「より」は比較等の意味で使う。

④ ビブナンバーを省略し、名前をフルネームで紹介することが多くなった

→ スタートリストがスクリーンに表示されたり、Webサイト等に掲載されたりすることが増えているため。ビブナンバーをいうこと自体は間違いではない。アナウンサー主任の指示に従う。

⑤ 「レーン」に「第」をつけるのは準決勝・決勝の紹介だけでよい

→ 予選では「2レーン〇〇さん」、決勝で「第2レーン 〇〇さん」とメリハリをつける。欠場レーンやレース中の描写結果発表にも「第」はつけない。

⑥ オープンレーンで行われる中長距離種目の紹介では、「レーン」「オーダー」は言わない。また、フィールド種目の紹介では、「第1跳躍者」「第1投てき者」「オーダー」とは言わない。

途中経過・描写 言葉遣いに注意

- ① トラック競技で「2番手」「3番手」とは言わない
→ 「2番目・3番目」といった言い方をする。「番手」は元々系の太さを表す単位であり、競馬・競輪の中継等では用いるが、陸上競技のアナウンスでは言わない。
また「〇〇さんに負けている」ではなく「〇〇さんに続いて」。
- ② フィールド競技で「失敗した」「諦めた」とは言わない
→ 「クリアできなかった」「惜しくも赤い旗」「途中で競技をやめている」
注目選手が欠場なら「〇〇君、本日は残念ながら欠場です」など

結果発表 情報は新鮮なうちに… 項目・順位は、トラックとフィールドで言い方が違う

- ① トラック競技は「着」「時間」。フィールド競技は「等」「記録」。
複数組で行われた場合の総合順位や表彰では「第〇位」
- ② 混成競技のフィールド種目の結果を発表する際は「等」をつけない。スクリーンを使用している場合はその表示順に(ほとんどが記録の良い順に表示される)、スクリーンがない場合はプログラム記載順(試技順)に発表する。ただし、得点を付け加えることを忘れずに。
- ③ 「時間」「記録」「得点」などの項目名は最初のひとりだけにつければよい。
- ④ スクリーン（電光掲示板）を利用する場合は「ページ番号」を省略してもよいが、使用しない競技会ではアナウンスする。結果のネット配信がある場合はアクセス方法を案内する。

言葉の重複を避ける よくある…

- ① 「この時の風は追い風1.1mでした」
→ 「追い風1.1mでした」。 また「この時」も言わない。
- ② 「先頭はAくん、続いてBくん、Cくんと続きます」
→ 「先頭はAくん、続いてBくん、Cくんです」 または、
「先頭はAくん、そのあとにBくん、Cくんが続いています」などが正解。

次のページの表をよく読んで慣れていこう！

アナウンス用語

	誤	正
種目の読み方		
100m	100メー <u>ター</u>	100メートル競走 (「競走」は省くことがある)
110mH	110メートルハードル競走	110メートルハードル
3000SC	3000m障害物競走または 3000障害(mがぬけている)	3000m障害
10000mW	10000mウォーク	10000m競歩
4 × 100mR	4かける100mリレー	400mリレー
4 × 400mR	4かける400mリレー	1600mリレー
数字の読み方		
0	ゼロ (英語読み)	れい
4	し (聞き取りにくい)	よん
7	しち (1や8と区別しにくい)	なな
時間の読み方		
3分、4分	さんぶん、よんぶん	さんぶん、よんぶん
8分	はっぶん (1分と区別しにくい)	はちぶん
10.05	10てんれいごう	10秒れいごう
1'11"93	1ぶん11秒93	71秒93 ※1
2'03"05	2分れいさん秒れいごう	2分さん秒れいごう ※2
9'00"70	9分れいれい秒ななれい	9分れい秒ななれい ※2
距離・高さの読み方		
7m68	ななメートル68センチ	ななメートル68(センチは言わない)
2m03	2mれいさん	2mさん
35m00	35mれいれい または 35mちょうど	35m (言い切り)
風の読み方		
+1.5	プラスいってんご	追い風 いってんごメートル
-2.0	マイナスにいてんれい	向い風 にメートル ※3
±0.0	プラスマイナスれいてんれい	風はありませんでした

※1 400mのラップタイムは競技者が普段慣れている「秒読み」とし、結果発表は「分読み」か「秒読み」かを主任が決め、全員で統一する。

※2 分・秒がひと桁の場合の十の位の0は読まない。1/100秒の0はそのまま読む。

※3 風で小数一位が0の場合は読まない。「2mちょうど」も誤り。

トラック種目のアナウンス

種目・選手紹介

【 例 1 予選で選手名の紹介を省略した 最も簡単な例 】

- ① このあとトラックでは、〔 種目 〕 予選が行われます。
- ② この種目の大会記録は、○秒○○です。 （必要に応じて記録保持者の名前も紹介）
- ③ 〔 種目 〕 予選は全部で3組あり、各組2着までと、
 - ・ 3着以下の上位記録 2名が 決勝へ進みます。
 - ・ 3着以下のうち、タイムの良い2名が 決勝へ進みます。
- ④ ・予選 1組は、8名 全員の出場です。
 - ・予選 1組は、○レーンを空けて 7名の出場です。

・流し用紙やPCと出場人数が違うことがよくあるので、スタート前に目視で確認する。

・スクリーンを使用しない競技会の場合は、①の後に「プログラムは○ページです」。
スクリーン使用の場合は「出場者はスクリーンに表示されています」などのコメントを入れる。

・「予選第1組の第6レーンは棄権です」ではなく、「予選1組は、6レーンを空けて、○名の出場です」と言う。 予選の組や欠場のレーンには「第」はつけない。
番組編成で最初から空いている1レーンや外側レーンについては、コメントしない。

・スターターはアナウンス終了と同時に、「On Your Marks」を言うよう心がけているので紹介の終わりには、必ず結語をつけること。

「出場です」のほかは、種目名のあとに「…が行われます」「…がスタートします」等

【 例 2 選手名を紹介する例 】

- ① このあとトラックでは、〔 種目 〕 準決勝/決勝が行われます。
- ② この種目の大会記録は、○秒○○です。
（予選・準決勝なら次ラウンド進出条件を入れる【例1③】参照）

- ③ 出場者を紹介します。 (「出場者は…」 など)
- ④ 第1レーン [名前] 君 [所属] ※予選の時は「第」はつけない
 第2レーン [名前] 君 [所属]
 ……
- ⑤ 以上8名の出場です。 ※欠場者の言い方は【例1④】と同じ

【 例 3 周回レースでスタート後に選手紹介する例 】 ※紹介はレース前が原則

- ① トラックでは間もなく、 男子 1500m競走、 準決勝が行われます。
- ② 準決勝は2組あり、各組5着までと 6着以下の中から上位記録2名が
 決勝進出です。
- ② 準決勝第1組の出場者は12名。 スタートしてから紹介します。
- ③ (スタートしたらすぐに) 男子 1500m競走 準決勝1組の出場者は、
 [名前] 君 [所属]、 [名前] 君 [所属] …
- ④ 以上12名です。

※紹介が終わる前後のタイミングで、先頭が最初の400mを通過する場合があるが、紹介の途中に
 途中時間を挟んでから、紹介を続ける。慣れないうちは、ほかのアナウンサーに途中時間を言っ
 てもら。慣れてきたら目安として先頭がフィニッシュラインを越えたら紹介をストップして…

「先頭は間もなく400m通過します……71秒。選手の紹介を続けます…」 → ④へ

この場合は、選手紹介が終わってすぐ800mの途中時間を言うタイミングになることが
 多いので備える。これも慣れないうちは、ほかのアナウンサーに言ってもらいとよい。

・途中時間の言い方は【例6】P10 参照

・慣れないうちは、選手紹介の原稿から目が離せないなので、途中でラップタイムを言う場合
 はほかのアナウンサーに補助してもらおう。

【 例 4 リレーの紹介 】

- ① 間もなくトラックでは、男子400mリレー 決勝が行われます。
- ② 大会記録は、〇〇秒〇〇です。
- ③ 出場するチームと そのオーダーを紹介します。
第1レーン [チーム名]
一走から [A] さん、[B] さん、[C] さん、[D] さん。
第2レーン [チーム名]
[E] さん、[F] さん、[G] さん、[H] さん。
.....
- ④ 以上、8チームの出場です。

※「一走から」は最初のチームだけでよい。

※紹介は、チーム名だけで、オーダーは省略することもある。

【 例 5 不正スタート・スタートのやり直しの例 】

- ① 〇レーン、不正スタートと判定されました。
- ② ただ今のは、不正スタートではありません。スタートのやり直しをします。
- ③ 機械の不調でスタートをやり直します。

※重要

競技開始直後だけ、例のようにアナウンスするが、何度か言ったあとは、①不正スタートと③機械の不調以外は、ノーコメントでよい(②を繰り返しコメントしなくてよい)。判断が難しいので、主任の指示を仰ぐこと。(「陸上競技審判ハンドブック 2021-2022」P133,134 参照)

レースの描写・途中時間

(1) 主な中長距離走(含むトラックで行われる競歩)の計時方法

- ・800m、1500m 周回ごと
- ・2000mSC、3000mSC 1000mごと(周回ごとを入れてもよい)
- ・3000m、5000m、10000m 1000mごと
- ・5000mW、10000mW 1000mごと

(2) 途中時間はあくまで参考なので、秒未満は繰り上げて発表する。

フィニッシュタイマーやスクリーンに表示される場合、それに合わせる。

例) 5分23秒14 → 5分24秒

- (3) 誤読や周回の誤りを防止するため、プログラムや用紙に周回数、途中時間を取る距離ポイント、手元で測ったタイムを必ずメモしておく。

用紙に決まりはなく、自分の使いやすいものを用意しよう。
プログラムに書き込んでよい。
右は 5000m のメモ。○がついている計測ポイントはフィニッシュ地点。
走った距離にチェックを入れていけば、間違いがなくなる。
上下を逆にして、下から順に途中時間を書くようにしてもよい。
上から下の引き算で、ラップタイムの計算が楽になるよ。
ストップウォッチの表示機能をうまく利用して、計算せずに
1000m ごとのラップが言えるように練習しよう。その時は、
秒単位で誤差が出るから注意しよう。

走った距離	check	途中時間	この1000m
400	✓		
800	✓		
○1000	✓	2'59	
1200	✓		
1600	✓		
2000	✓	6'01	3'02
2400	✓		
2800	✓		
○3000	✓	9'02	3'01
3200	✓		
!			

- (4) 競技者も観客も、途中時間を参考にしていて、すぐに知りたい。計測ポイントを通過する前に、いべきことを言うておき、通過後はタイムだけを言う。

【間違った例】ポイント通過後に、すでに言うてある言葉を繰り返す
「先頭は間もなく 1000m の通過…(ポイント通過)…1000m の通過は○分○秒」
→ 正しくは「先頭は間もなく 1000m の通過…(ポイント通過)…○分○秒」

- (5) 同じ言葉が重ならないように注意する。

【間違った例】

「先頭はA君、続いてB君、そしてC君と続きます。」
→ 正しくは 「先頭はA君、その後ろにB君、C君と続きます。」
「先頭はAくん、そのあとにBくん、Cくんが続いています。」等

【 例 6 途中時間の基本例 】

目安としてラップタイムの計測ポイントの約 80m 手前を過ぎたら

- ① [種目] 予選は、先頭が間もなく 2000m の通過です。

(計測ポイントを通過したら間髪入れずに…)

- ② ○分○秒、 この 1000m は、○分○秒 です。

【 例 7 先頭の選手が誰かを入れる例 】

コメントのタイミングは 【例6】と同じ

- ① [種目] 予選は、[名前] 君を先頭に 間もなく 2000mの通過です。
- ② 〇分〇秒、 この 1000m は、〇分〇秒 です。

※先頭グループが大勢いたら一番前の選手について「A君あたりを先頭に…」や、2～3人なら「A君、B君、C君あたりを先頭に…」などと言ってもよい。

レースの結果発表

【 例 8 スクリーンはなくフィニッシュタイマーがある時の1着の速報の例 】

- ① フィニッシュタイマーは 〇〇分〇〇秒で止まっています。
- ② (風が必要な場合) ただ今のレース 追い風 1mでした。

(フィニッシュタイマーが一度消えて、レーン番号とタイムが表示されたら)
- ③ ただ今の1着は 〇レーンの [名前] さんで 〇〇秒 でした。

【 例 9 フィニッシュ後に黄旗が挙がったときの例 】

1着の速報を言ったあとで

黄旗が挙がっていますので、正式結果をお待ちください。

結果発表の前に気をつけること

- (1)トラックでは、スタートのコマンドがかかっているか？ほかのアナウンサーがフィールド種目の描写をしている最中で、今、まさに助走を始めるというタイミングではないか？喋りだす前は、必ず全体を見渡す習慣をつけよう。
- (2) 結果の記載(表示)様式は、1行目が必ずしも1着(位)ではないので注意する。
→レーンや試技順の場合もあるので確認しよう。

- (3) プログラムがある場合は、聞き手がプログラムを開く時間、記入する時間を考慮して話すスピードや間の取り方に注意する。
スクリーンがある場合は、表示されたタイミングにあわせてアナウンスする。
- (4) 抗議に備えて、発表した時刻を必ず書き留めておくこと。

【 例 10 結果の用紙(リザルト)の読み方の例 】

- ① 先ほどおこなわれました / ただ今 行われています
〔 種目 〕〔 予選・準決勝〇組 / 決勝 〕の結果です。プログラムは〇ページです。
(聞き手がプログラムを開く時間を考慮して少し待つ)
- ② 1着 〔 名前 〕さん〔所属〕 時間 〇分 〇秒 〇〇
2着 〔 名前 〕さん〔所属〕 〇分 〇秒 〇〇 ※「時間」は1着だけ
……
- ③ 追い風 / 向かい風 〇.〇m でした。 ※「この時」は言わない

【 例 11 スクリーン使用のレースの例 】

正式結果まで流れて言える時

- ① フィニッシュタイマーは 〇〇分〇〇秒で止まっています。
- ② (風が必要な場合) このレース 追い風 1m でした。
(Live の表示が出たら)
- ③ スクリーンには、写真判定中の結果が表示されています。
※ ↑このコメントは最初の2~3回でよい
1着は 〇レーンの 〔 名前 〕さんで 〇〇秒
…… (何着まで言うか事前に決めておく)

以下、ご覧の通りです。

※黄旗が挙がったら

- ④なお、黄旗が挙がっていますので、正式結果をお待ちください。

(次ページへ続く)

【 この続きで結果がすぐに Official になったら 】

〔 種目 〕 〔 予選・準決勝〇組/決勝 〕 は結果が確定されました。

【 結果がすぐに Official にならずに、少したって表示されたら 】

スクリーンには 〔 種目 〕〔 予選・準決勝〇組/決勝 〕の結果が表示されています。

※「ご覧ください」は不要。 Live の時に読んでいるので、表示されていることを伝えればよい。

【 例 12 同タイム着差ありの例 】

① 先ほどおこなわれました男子 100m 競走、 決勝の結果です。

② (少し間をおいて)

1 着	6 レーン	多田修平君	住友電工	時間	10 秒 15
2 着	7 レーン	デーデーブルーノ君	東海大学		10 秒 19
3 着	4 レーン	山縣亮太君	セイコー		10 秒 27
4 着	8 レーン	小池祐貴君	住友電工		10 秒 27
5 着	5 レーン	桐生祥秀君	日本生命		10 秒 28

.....

③ 追い風 0.2m でした。

④ ・なお、3 着と 4 着は、1000 分の 1 秒の単位で着差がありました。

・(スクリーンに 1/1000 秒までの表示が出ていれば具体的な数字を言ってもよい)

ご覧の通り、3 着と 4 着には、1000 分の〇秒の着差がありました。

(簡単に「1000 分の 1 秒の単位で着差がありました。」でもよい)

※ 1/1000 秒までが同タイムだった場合の例として、

「 3 着の A 君と B 君は、1000 分の 1 秒の単位まで同タイムでした。」

【 例 13 + α の言い方の例 】

- ① [種目] [予選 / 準決勝] の結果、タイムで [準決勝 / 決勝] へ進む 選手をお知らせします。
- ② ○組○着 [名前] さん [所属] ○○秒○○
..... ※組・順位タイムは省略することもある
- ③ 以上、○○秒○○ までの○名です。
※最も遅いタイムを言う

【 例 14 + α を減らす場合の例 】

- ① 先ほど 終了した 男子1500m 予選 2組の4着で2名が 1000分の1秒まで同タイムでした。この2名はともに 決勝進出です。
その分、記録で進む人数を減らして、決勝進出は 各組4着までと5着以下の上位記録3名となります。
- ② その3名をお知らせします。
○組○着 [名前] さん [所属] ○分○○秒○○
.....
- ③ 以上、○分○○秒○○ までが プラスで決勝進出です。



最近多くなってきたレース結果のネット配信

スクリーンがない場合などはとくに便利。

プログラムにQRコードやURLが載っているので、何度か案内しよう。

例) 本日の競技の結果は、プログラム○ページにあるQRコードからアクセスするとご覧いただけます。

例) 本日の競技の結果は、ウェブサイトに掲載しています。

プログラム○ページにURLが記載されています。ご利用ください。

フィールド種目のアナウンス

種目・選手紹介

- (1) フィールドに選手を並べて紹介することがある。その場合は、紹介するタイミングはいつなのか、進行担当やフィールド審判員に確認しておく。
慣れないうちは、アナウンサー主任の指示を仰ぐ。
- (2) 場所の呼び方は、フィニッシュ側曲走路内側を「Aゾーン」。
100m スタート地点の方の曲走路内側を「Bゾーン」。
他に「正面スタンド前」「メインスタンド前」「バックスタンド前」。
- (3) 目安として、紹介にかかる時間は10名で1分。
トラックのスタートや、他のフィールド種目の見せたい場面にかぶらないか？
- (4) 予選通過標準記録はプログラムで確認する。
- (5) 試技順番号は言わない。
- (6) 砲丸投は、競技開始時刻が早まることが多いので注意。
棒高跳は、競技開始時刻が遅れることが多く、気づかないうちに始まっていることもあるので注意。

【 例 15 紹介の例 】

- ① このあとフィールド Aゾーンでは、[種目] [予選・決勝] が行われます。
- ② この種目の大会記録は、〇〇m〇〇です。 ※「cm」は言わない
(必要に応じて記録保持者の名前も紹介)

【 予選の場合 】

- ③ 予選1組は 〇名、2組は〇名の出場です。
1組はスタンド側のAピットで 2組はトラック側のBピットで 行われます。
予選通過標準記録は 〇〇m〇〇です。
 - ・(スクリーンに表示されていれば)
スクリーンには出場選手が表示されています。
 - ・(スクリーンなしの場合は)
プログラム〇ページをご覧ください。

【 決勝の場合 】

- ③ 出場選手は ○名です。
- ・(スクリーンに表示されていれば)
スクリーンには出場選手が表示されています。
 - ・(スクリーンなしの場合は)
プログラム○ページをご覧ください。

【 選手の名前を紹介する場合 】

- ③ 出場選手を紹介します。
- [名前] さん [所属]
[名前] さん [所属]
.....
以上 ○名の出場です。

【 高さを競う種目の場合 】

- ④ 最初の高さは○m○○です。
- ⑤ (パスがいる場合は)この高さには、○名が挑戦し、○名はパスをします。

【 続けて描写を入れる場合 】

最初の [跳躍 / 投てき] は、[名前] さん [所属]

- 🎙️ 「続いての投てき者は」というフレーズをよく聞くけれど、
なんだかヘンだと思わない？
「続いての」の「の」も「投てき者」の「者」も言わない。
「続いて○○さんの跳躍」「続いて○○君の投てき」と言うのが正しい。
他の言い方では、「次の跳躍は ○○君」とか…
シンプルに、「続いて ○○さん」だけでも通じる。

次の「描写」編で研究しよう。



試技の描写

【 例 16 長さを競う種目の描写の例 】

- ① 最初の〔 跳躍 / 投てき〕は、〔 A 〕さん〔所属〕
(試技～計測) ※計測の間に資格記録など言ってもよい。

〔 A 〕さんの 1 回目は 〇〇m〇〇

- ② 次の〔 跳躍 / 投てき〕は、〔 B 〕さん〔所属〕
.....

【 2 回目以降 】

- ① 〔 種目 〕〔 予選・決勝 〕は〇回が終わり、現在トップは
〔 A 〕さん〔所属〕 〇〇m〇〇
それを〔 B 〕さん〔所属〕が 〇〇m〇〇
〔 C 〕さん〔所属〕が 〇〇m〇〇で 追う展開です。

(トップ 8 が決まる前なら)

- ② なお、現在の 8 位の記録は 〇〇m〇〇 です。 ※8 位の選手の名前は言わない

- ③ 〇回目 最初の〔 跳躍 / 投てき〕は 〔 A 〕さん〔所属〕
〔 A 〕さんは 〇回目に 〇〇m〇〇をマークしています。


(試技～計測)

- ④ 〔 A 〕さんの 〇回目は 〇〇m〇〇 ※ファールの時はノーコメント。
(記録が伸びれば) ・記録を伸ばしました。
・記録を伸ばして 4 位に上がりました。

- ⑤ 続いて〔所属〕の〔 名前 〕さん… (③のコメントを続ける。)

※4 位以上なら現在の順位も言う。

・〔 E 〕さんは 〇回目に 〇〇m〇〇をマークして 現在〇位です。

「 次の選手を紹介するときは、それまでの記録と、目安として、その選手が 4 位以上なら 順位までを セットで紹介する。名前だけの紹介で終わらせない。時間が足りない時は、選手名だけ紹介しておいて、計測中にそれまでの記録や順位を紹介するてもあり。計測中はコメントを入れるチャンス!

「砲丸投は 4 回目が終わりました。これから 5 回目に入ります」とよく聞くと、「4 の次は確かに 5 だよ。」と突っ込まれそう?そんな時は「4 回目が終わって〇〇君が 12m30 と記録を伸ばし、3 位に上がっています。これから 5 回目。」のように何か途中経過を入れよう。

【 例 17 トップ 8 発表の例 】

- ① [種目] 決勝 は 3 回の試技が終わり、トップ 8 が決まりました。
- ② トップ 8 の選手を 4 回以降の試技順に ここまでの記録とあわせて 紹介します。
- ③ [H] さん [所属] ここまで ○○m○○
[G] さん [所属] ○○m○○ ※「ここまで」は最初のひとりだけでよい
.....
(7 人まで言ったら)
- ④ 3 回を終わり、現在トップは [A] さん [所属] ○○m○○ です。
- ⑤ これから 4 回目に入ります。 ※走幅跳・三段跳の風は言わなくてよい

【 例 18 高さを競う種目の描写の例 】

- ① [種目] [予選・決勝] はバーの高さが ○m○○です。 (「cm」は言わない)
- ② これに ○名が挑戦して、○名がパスを します / しています。
- ③ 最初の跳躍は [A] 君 [所属]
[A] 君 クリア
(失敗したらノーコメントでよい)
(惜しいジャンプなら「わずかに体が触れました。」「惜しくも赤い旗。」など)
- ④ 続いて [B] 君 [所属]
.....

※ 挑戦者が絞られてきたら①のあとで名前を紹介する。「これに挑戦するのは…○○君…」

【 例 19 ひとりひとりの試技終了から種目の終了の例 】

【 長さの種目、最終試技で記録が伸びなかった場合 】

[所属] の [名前] 君 の 3 / 6 回目は ○m○○
[名前] 君 本日は ○回目にマークした ○m○○ で試技を終了しました。

(次ページへ続く)

【 長さの種目、最終試技で記録を伸ばした場合 】

〔 所属 〕 の 〔 名前 〕 君 の 3 / 6 回目に記録を伸ばして Om○○
本日はこの記録で終了です。

【 高さの種目の場合 】

〔 所属 〕 の 〔 名前 〕 君 最後はバーを落としてしまいました。
〔 名前 〕 君 本日は Om○○ で終了しました。

【 最後の試技の前に優勝が決まっているとき 】

この時点で優勝が決まった 〔 所属 〕 の 〔 名前 〕 君の最後の 〔 跳躍 / 投てき 〕 です。

- ・ 〔 名前 〕 君、最後 優勝記録を伸ばし Om○○をマークです。
- ・ 〔 名前 〕 君、6 回目は×m××。本日は○回目にマークしたOm○○で優勝です。

【 種目の終わらせ方の例 】

以上で、〔 種目 〕 決勝、 競技終了です。

優勝した 〔 所属 〕 の 〔 名前 〕 君、おめでとうございます！

【 例 20 ジャンプオフの例 】

- ① 〔 種目 〕 決勝は、〔 所属 〕 の 〔 A 〕 君と、〔 所属 〕 の 〔 B 〕 君で
1 位決定戦 (ジャンプオフ)に入ります。
- ② バーの高さは Om○○です。
先に挑戦するのは、〔 所属 〕 の 〔 A 〕 君です。
…… (描写の仕方は【例】に同じ)
- ③ ・ Om○○ をふたりともクリアしたので、バーは 〔 2 / 5 cm 〕 上がります。
・ Om○○ をふたりともクリアできなかったため、バーを 〔 2 / 5 cm 〕 下げます。
- ④ 〔 A 〕 君と、〔 B 〕 君のジャンプオフの結果、〔 B 〕 君が優勝を決めました。

※ 競技規則 TR26.9 を理解しておこう。

【 例 21 結果の用紙(リザルト)の読み方の例 】

- ① 先ほどおこなわれました
 [種目] 決勝 の結果です。プログラムは○ページです。
 (聞き手がプログラムを開く時間を考慮して少し待つ)
- ② 1等 [名前] さん [所属] 記録 ○m ○○ ※「記録」は1等の時だけ言う
 2等 [名前] さん [所属] ○m ○○
 ……
- ③ 以上でした。 ※走幅跳・三段跳の各試技の風は省略してもよい

【 予選の結果の例 】

- ① 先ほどおこなわれました [種目] 予選 で予選通過記録を越えた選手をお知らせします。
- ② [名前] さん [所属]
 ……
- ③ 以上の14名が 決勝進出です。

(事前に決められた決勝の人数に足りない場合)

- ③ 以上、予選通過標準記録を越えた選手が 9名しかいませんでしたので、記録の良い 3名を加えて、12名が 決勝進出となります。その3名は、[名前] さん [所属] …… です。

【 例 22 スクリーン使用の結果発表の例 】

- ① スクリーンには、先ほどおこなわれました [種目] 決勝 の結果が表示されています。
- ② 1等 [名前] 君 [所属] 記録 ○m ○○
 2等 [名前] 君 [所属] ○m ○○ ※「記録」は1等だけ
 …… (何等まで読むのか、決めておく)
- ③ 以下、ご覧の通りです。

表 彰

必ず準備しておくこと

表彰係がいれば表彰係に、いなければ総務にプレゼンターの肩書やフリガナ入りのリストを作ってもらおう。

必ず確認しておくこと

- ・表彰は1位からか？ 3位(8位)からか？
- ・プレゼンターは賞状を読むのか？ 読むなら1位だけか？
- ・受賞者に渡すものは何か？
- ・通常は「メダル」。選手権大会の優勝者は「選手権章」。

競技中のアナウンスとは違う、「おめでとうございます！」の気持ちを込めて。

【 例 23 表彰の例 】

① ただいまから、女子100m競走の表彰を行います。

② ・プレゼンターは、〇〇陸上競技協会 [名前] 副会長 です。
・表彰は、〇〇陸上競技協会 [名前] 副会長 がおこないます。

(受賞者・プレゼンター・表彰係全員が表彰台の前に立ったのを確認してから)

③ 女子100m競走 第1位は [名前] さん [所属]
大会新記録 12秒23をマークしました。
昨日の200m競走に続き、みごと2冠達成です。
[名前] さんには メダルと 賞状が贈られます。

(メダル・賞状が手渡され、プレゼンターが2位の台へ移動し始めたら)

④ 第2位 [名前] さん [所属] 記録は12秒35でした。
[名前] さんには賞状が贈られます。

(……以下同様に全員におこない、プレゼンターが再び1位の台の前に戻ったら)

⑤ 以上で 女子100m競走の表彰を終わります。 おめでとうございます。

Ⓜ よく間違えるけれど「プレゼンター」じゃないよ。

※プレゼンター…「発表者」「説明者」

グラウンドコンディション

定時観測連絡票	
風力計測員	
月 日	2021年7月3日
時刻	13時00分
天候	晴・曇・雨
気温	25.6℃
湿度	64%
風向	東南東
風速m/S	1.6 m/sec

(JAAF-26. 2021/2)

左のような用紙が来るので、読み上げる。
時刻前に持ってくることもあるが、定時を過ぎてから言うこと。

- ① 12時現在のグラウンドコンディションです。
- ② 天候、曇り。
- ③ 気温、25.6度。
- ④ 湿度、56パーセント
- ⑤ 東南東の風、1.6メートルでした。

※「風向、東南東。風速1.6m」とは言わない。



「今日初めてマイクにおかう人」に的を絞った内容にしました。

ここに書いていないことはたくさんあります。

アナウンサー主任や経験を積んだアナウンサーに

アドバイスしてもらい、指導を受けながら、自分のものにしていってください。

標準的なコメントの【例】を挙げました。

例文の通りでなくてはならないということではありません。

まずは例にならって喋ってみて、慣れてきたら他の言い回しを工夫して構いません。

肝心なのは競技者にも観客にも、審判員にも親切で聞き取りやすいアナウンスを心掛けることです。

盛り上げようとするあまり、テレビのスポーツ中継などでよく耳にする、

感情的な絶叫型コメントをする必要はありません。

あまりに個性的な喋り方も主役である競技者の邪魔になるかもしれません。

全てにおいてコメントをつける必要はなく、「魅せる」ために、

あえて何も喋らない場面があってもよいのです。

うまく喋ろう、なんて考えずに「伝えたい」「伝えよう」という気持ちが大切です。

それが喋る言葉に現れるものです。

その競技会にたどり着くまでに、競技者が積み上げてきた努力に敬意をもち、

彼らの渾身のパフォーマンスについて、必要な情報を的確に迅速に提供することが第一の任務です。

あなたは自身のパフォーマンスのためにマイクにおかうわけではないのです…



もっと詳しい内容を学びたい人へ

陸連 HP <https://www.jaaf.or.jp/>

「委員会情報」→「競技運営委員会」に、

「アナウンサーのしおり」が掲載されています。

さくいん



あ アナウンスの用語 3 ページ

アナウンス用語正誤表 5

か グラウンドコンディション 21

結果発表 4

結果発表の前に気をつけること 10

言葉の重複を避ける 4

さ 試技の描写 16

ジャンプオフの例 18

初心者によくある事例 2

た 同タイム着差あいの例 12

途中時間の基本例 9

途中経過・描写 4

トップ8 発表の例 17

トラック種目のアナウンス 6

は 表彰 20

フィールド種目のアナウンス 14

フィールド種目の結果発表 19

不正スタートの例 8

+αの言い方の例 13

ま マイクにおかう時は 1

もっと詳しい内容を学びたい人へ
21

ら リレーの紹介 8

レースの結果発表 10

レースの描写・途中時間 8



JAAF
陸上競技のアナウンサー
～初めてマイクにおかう人へ～
2021年改訂

2021年7月発行

編集・発行 公益財団法人 日本陸上競技連盟
競技運営委員会

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘 4-2

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階

 050-1746-8410